



技術史教育

第124号

2020.10.31

Education for History of Technology

第124号 目次

- 日本技術史教育学会2020年度全国大会の開催にあたって……………鳥谷智文(1)
 日本技術史教育学会2020年度全国大会開催案内……………鳥谷智文(2)
 全国大会視聴方法・2020年度関西支部総会・研究発表講演会募集……………(3)
 関西支部行事案内・会告・編集後記……………(4)

【全国大会】

日本技術史教育学会2020年度全国大会 (鳥根・松江)開催にあたって



2020年度全国大会実行委員会

実行委員長 鳥谷 智文(松江高専)

日本技術史教育学会 2020 年度全国大会が、松江で再び開催されることになり、今回は 11 月 2 日にリニューアルオープンする松江高専図書館を会場にと思いい準備を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルスによる罹患防止のため、止む無くリモートでの開催となりました。学会が中止あるいは延期になる状況において、それでも開催されることになったことは、大変ありがたいと思います。今回は、松江高専図書館を情報の発信基地として全国大会を進めていく予定です。ご参加の皆様におかれましては、お手元に届いております講演視聴方法をご覧の上、ご参加いただけますとありがたく存じます。

さて、前回松江で開催した折、当時の実行委員長の久間英樹氏から松江についての概要、そして松江高専についても紹介をいただきました。今回は、内容の重複を避け、拙者の歴史的興味から松江という地域の特性を見出し巻頭言といたします。

松江という地域は、近世期、堀尾家により松江藩が設置され、京極家、松平家と藩主が続きました。

その中でも松平家は、幕末まで長期間松江藩藩主であり続けました。藩政を支えた研究及び教育機関、いわゆる藩校は、宝暦 7 年(1757)、幕府儒者林家の門人桃白鹿が文明館を創立し、その後、天明 4 年(1784)には、林家の朱子学から少し飛び出して、「荀子」にちなんで明教館と名を改め、藩士の教育に力を注ぎました。その結果、藩政改革に影響を与え、「御立派」など藩政改革のローガンなどは、儒学を根本とした用語となっています。

その後、慶応元年(1865)、明教館は西洋式の軍事訓練などを主とした文武館に移転し、修道館と改

称して廃藩置県後の明治 5 年(1872)まで存続していきます。

明治維新の改革が訪れ、松江もその波に呑み込まれていくこととなりますが、その中で研究及び教育の一翼を担う図書館は、明治 6 年(1873)、「書籍縦観所(書籍縦覧所)」として松江市殿町に開設されました。この施設は最古の公立公共図書館との評価もあり、図書館の歴史上重要な位置を占めると考えられます。この施設について、鳥根権修参事境二郎は、壮年期の人々が研究するための施設と公言しています。研究のために必要な書籍は、廃館となった藩校修道館の蔵書を移管したと考えられ、明治 10 年(1877)の統計では、和漢書 980 部、洋書 2871 部、合計 3851 部あり、全体的に学術書が多く、特に洋書が多かったようです。「書籍縦観所(書籍縦覧所)」の機能の中で特に注目されるのは、来館者に書籍を閲覧してもらうだけではなく、取締や幹事が来館者からの質問に答えていく、いわゆる現在でいうレファレンス・サービスのような職務があったことです。取締・幹事に任命されたのは、修道館で教鞭をとっていた桃好裕(文之助、節山)を中心とした学者・教育者ら 8 名でした。

このように、松江は、学問を維持、発展するための施策を近世のみならず、近代の変革期にいち早く導入している地域と評価できると思います。

学問と深く関わっていった松江から、新たな学会のあり方を模索する方向となるであろう全国大会を運営し、研究情報を発信するという責任を実行委員一同肝に銘じつつ、大会運営に勤しみたいと思います。

多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

日時:2020年11月14日(土), 9:00~16:40

主催:日本技術史教育学会

共催:日本メカニズムアーツ研究会

場所:松江高専(オンライン開催)

《プログラム》

9:05 実行委員長挨拶

9:15 会長挨拶

《技術史・技術文化史Ⅰ》

- 9:30~9:50 多田銀銅山で使われた鉱山道具
青木美香(関西大)
- 9:50~10:10 明治前期糸原家のたたら製鉄と生産品
鳥谷智文(松江高専)
- 10:10~10:30 鉱山坑道内掘削痕跡「のみ角」の形状解析-尾去沢鉱山編- ○久間英樹(松江高専)、福岡久雄(東京電機大)、青木美香(関西大)、小松美鈴(湯之奥金山博物館)

《休憩 10:30~10:50》

《技術論・技術史学》

- 10:50~11:10 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930 から 1980 年代にかけて(第1報) ○牛山泉(足利大)、飯野光政(足利大)
- 11:10~11:30 山間部の農村で昭和中期まで使用されたバッテリー水車
○中條祐一(足利大)、飯野光政(足利大)
- 11:30~11:50 1920年代から40年代の米国小型風力発電機産業-農村電化との関連性を中心として- ○飯野光政(足利大)、牛山泉(足利大)

《昼食 11:50~13:00》

《技術史・技術文化史Ⅱ》

- 13:00~13:20 戦前・戦中のレシプロ双発戦闘機の技術と用兵に関する考察 第2報-P38の開発に着目して- 岡崎昭仁(神奈川工大)
- 13:20~13:40 ハンニバル像の変遷-幕末期- 山舘順(サレジオ高専)
- 13:40~14:00 辰巳用水敷設の歴史と水理学上の考察-逆サイフォン、低勾配水路ほか- 南正晴(元三菱重工)

《休憩 14:00~14:20》

《技術史・技術文化史Ⅲ》

- 10:14:20~14:40 東京荒川区における胡粉づくり
吉田喜一(元産技高専)
- 11:14:40~15:00 古代メソアメリカ文明遺跡の実地調査研究-第7報 古代メソアメリカ最後の文明・アステカ文明- 渡部紘一(元松江高専)
- 12:15:00~15:20 機械製図の文化の変革に関する研究-第20報 製図の文化・製図論について(その7)- ○平野重雄(東京都市大学、(株)アルター)、喜瀬晋((株)アルター)、関口相三((株)アルター)、奥坂一也((株)アルター)
- 13:15:20~15:40 八田與一とジュエル・ジャスティン
武長玄次郎(木更津高専)

《16:00 実行委員長挨拶》

【参加費】

・研究発表講演会参加登録費:3000円(講演論文集有)、1500円(講演論文集無)

【全国大会・研究発表講演会参加申込み】

オンライン講演参加には、メールアドレスが必要です(いただいたアドレス宛に、口座番号を含め参加に必要な情報をお送りいたします)。参加申込用紙をお送りしますので、以下のメールアドレスまでお申込みください。または、同封の参加申込用紙に記入し、下記まで郵送またはFAXでお申し込みください。11月4日(木)17時を期限とします。期限厳守に御協力ください。

【申込先】

takenaga@h.kisarazul.ac.jp
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F(株)プラスワン気付 日本技術史教育学会2020年度全国大会実行委員会 FAX:03-3835-2494
*11月2日以降、学会事務局は下記の住所に変更となります(4ページにも記載)。
〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 ホイットマンション201号 (株)プラスワン気付 日本技術史教育学会事務局

【実行委員】

久間英樹(松江高専)、本多将和(松江高専)、渡部紘一(元松江高専)、岡崎昭仁(神奈川工科大)、武長玄次郎(木更津高専)、山舘順(サレジオ高専)

2020 年度全国大会 視聴方法

Google Meet での講演視聴方法について①

参加の前提確認

- ・ご使用デバイス(パソコン、タブレット等)に内蔵カメラ+マイクもしくは後付けカメラ+マイクが装着されていること。
- ・ご使用デバイス(パソコン、タブレット等)のインターネット接続設定をご確認ください。
- ・インターネット回線はモバイルWi-Fiではなく、固定の回線利用を推奨します。
- ・Webブラウザ(検索ソフト)として、Google Chromeがインストールされていることが望ましいです。
- ・通信容量は90分で約1GBです。9:00-7:00接続した場合は、約5.5GB必要となります。学校や会社の通信回線を利用する場合は問題ないと思います。しかし個人契約の通信回線を利用する場合は、契約内容をご確認ください。

Google Meet での講演視聴方法について②

具体的参加方法

- 1、参加者(発表者および聴講者)の方にメールアドレスを実行委員会(kuma@matsue-ct.jp)に送ってもらう。
- 2、参加者アドレスを大会用URLに登録(実行委員会が行う)。
- 3、大会用URLを参加者のメールアドレスに連絡。
- 4、実行委員会から送付されたメール内のURLをクリック。
- 5、参加者がURLをクリック後、実行委員会が認証すると次ページのようなGoogle Meet画面となりオンライン参加が可能となります。
- 6、画面内では
 - ①のマイク、カメラを「ON」にする。
 - ②「今すぐ参加」をクリック。今回のオンライン大会では発表スライドは事前に 実行委員会に提出してもらうため発表者の画面を共有化する機能は未使用とします。

発表者用 当日のGoogle Meet使用方法

講演会当日

発表時はマイクとカメラをONにしてください。

聴講時はマイクとカメラをOFFにしてください。質問のある時はマイクをONにしてください。以上のような方式を考えています。

質問事項に関しましては、

実行委員 久間(kuma@matsue-ct.jp)(090-9730-1175) までお願いします。

発表用パワーポイントは11月9日(月)16:30までに久間(kuma@matsue-ct.jp)までメールにて送信してください。最終接続確認を11月9日(月)17:00-18:30に行います。ご希望の方は、接続確認した際と同じURLをクリックして参加してください。



聴講者用 当日のGoogle Meet使用方法

講演会当日

聴講時はマイクとカメラをOFFにしてください。質問のある時はマイクをONにしてください。以上のような方式を考えています。

質問事項に関しましては、

実行委員 久間(kuma@matsue-ct.jp)(090-9730-1175) までお願いします。

参加申し込みをされた聴講者の方には、事前に接続確認を実施したいと考えています。日時に関しては、決まり次第メールでお知らせします。

【2020 年度関西支部総会・研究発表講演会募集】

関西支部2020年度総会・研究発表講演会の研究発表を募集します。

コロナ禍のため、今年度はオンライン開催とします。特別講演、交流会、見学会は割愛します。

◆開催日時:2021年3月27日(土)9:30-17:00

◆開催窓口:南 正晴 (関西支部長)

◆研究発表講演の申込方法:件名を「2020 年度日本技術史教育学会関西支部総会・研究発表講演会申込」と書いて下記①~⑤までをA4版用紙に記載し、下記申込先にてメールにてお申込みください。

①講演者名及び所属名(登壇者は、2020 年度会費を納入済みであること。連名の場合は、講演者名の前に○印をつける。同一講演者の場合、一件のみの申込みとさせていただきます)

②主題、副題

③講演者連絡先(住所・TEL/FAX・メールアドレス)

④キーワード:5 つ程度

⑤講演発表ツールについては、Zoom を予定していますが詳細検討後、ニューズレター 125 号にてお知らせします。

◆申込先:〒655-0046 神戸市垂水区舞子台 7 丁目 3-2-702 南 正晴 TEL:078-747-0294

Email:m.minami@fork.ocn.ne.jp (折り返し返信メールします)

◆発表申込締切:2021 年 1 月 8 日(金)17 時必着

◆発表原稿提出期限:2021 年 2 月 8 日(月)17 時必着。ページ数は、3~4 ページとなっています。メールの添付ファイル(PDF)にて送付ください。

◆申込み多数の時は受付先着順とし、発表時間 20 分を 15 分に短縮することがあります。

◆大会参加費は、3,000円(振込手数料は本人負担、予稿集送料は当方負担)とさせていただきます。

【学会からのお知らせ】

日本技術史教育学会創立25周年

本学会は、2020年10月28日に創立25周年を迎えます。当初の学会名称は技術史教育学会、それまで10年間活動を続けた技術史教育研究会を学会へと改組致しました。発会式は1995年10月28日、東京の上智大学において、51名の出席により行われました。この日、会長に前田清志先生(玉川大学教授)を選出、中山秀太郎(上智大学名誉教授)、土屋喜一(早稲田大学教授)、村松貞次郎(東京大学名誉教授・博物館明治村館長)の諸先生から、ご祝辞と激励のお言葉を戴きました。さらに三輪修三先生(青山学院大学副学長・教授)は、「工学系学校における技術史・工学史教育の役割-技術者による、技術者のための技術史・工学史-」の題目で、記念講演をしてくださいました。発会式の実行委員会は勝山昭夫先生(茨城工業高等専門学校教授)を要に数名で構成し、発会式参加者の良き記念となるよう準備を進めました。今後は2025年の30年に向けて、地道ながら着実な活動を続けていきたいと思いま

すので、会員各位のご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

今後の理事会役員体制について

2020年4月30日発行のニューズレター第121号でお知らせした今後の理事会役員体制について、2020年11月14日に松江で開催される全国大会で本件を会員各位にお諮りする旨をお知らせしたところですが、コロナ禍により全国大会はオンライン開催になったこと、新たに新規役員を選出しても任期は半年未満であることを考慮し、現理事会で2021年3月31日まで継続して学会運営を担当した方が、運営上生じる問題が少ないと判断し、任期終了まで現体制で継続させていただきます。事後承諾になりますが、学会業務の円滑化を最優先させるための措置ですので、宜しくご了解くださるようお願い申し上げます。なお例年通り、2021年に開催予定の総会当日までは、現体制で学会業務を担当致しますのでご安心ください。

【お 願 い】

2020年度会費未納の方はお手元の振込用紙を使い納入してください。前年度までの会費未納者も早急な対応をお願いします。

【学会事務局移転のお知らせ(重要)】

本学会の事務局が、2020年11月2日(月)、下記に移転しますので、お知らせ致します。

〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 ホトマンション201号 (株)プラスワン気付 日本技術史教育学会事務局 電話/FAX:03-3824-2611

【新入会員紹介】

□青木美香(関西大大学院),上村繁樹(木更津高専)

個人情報につき、氏名・所属のみ掲載(敬称略)

【理事会議事録】

◆第162回(通算205回)理事会

日時: 2020年8月26日(水)以降新型コロナウイルス感染防止の為メール審議

議題0)前々回(第160回)議事録承認, 1)各部門報告<総務(会員動向, 2020年度総会(書面)報告, 25周年記念事業に関して, 各表彰者に関して, 学会HP更新, 編集(ニューズレター編集, 学会誌編集進捗状況), 企画(2020年度全国大会に関して, 2)関西支部委員会報告, 3)その他, 4)次回理事会: 2020年10月予定

◆第163回(通算206回)理事会

日時: 2020年9月19日(土)以降新型コロナウイルス感染防止の為メール審議

議題1)総務(入会希望者審議, 現理事の任期延長について), 2) その他, 3) 次回理事会:未定

【編集後記】

まだまだ新型コロナウイルスの終息が見えず、新たな生活様式で少しずつ活動を再開し始めております。

今年度の全国大会(松江)に於きましても、遠隔での開催にすることといたしました。初めての試みであり会員各位にもご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニューズレター 第124号

2020年10月25日 印刷

2020年10月31日 発行



技 術 史 教 育

Education for History of Technology

発行者
編集

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 ホトマンション201

TEL/FAX:03-3824-2611

E-Mail: jseht@nifty.com